

付着生物ラーバ情報

秋から冬生まれのムラサキイガイラーバはほとんど付着しません

1 11月のラーバ出現状況

付着生物ラーバ調査は図1の地点で10~3月まで月4回実施しています(川内のみ月2回)。ラーバ等出現数は表1、出現数の推移は図2~4のとおりです。

(1) ユウレイボヤラーバ(通称:ハナ)

4地点とも1.0個体/m³未満で少ない状況です(表1、図2)。

(2) サンカクフジツボラーバ(通称:アカガキ)

奥内で2.5~14.2個体/m³、久栗坂で2.2~4.4個体/m³、野辺地で0.8~1.6個体/m³、川内で0.8個体/m³見られました(表1、図3)。

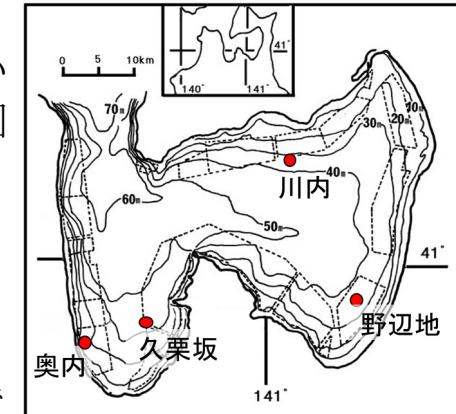


図1 付着生物ラーバ調査地点

(3) ムラサキイガイラーバ(通称:カラスガイ、シュリ、マルゴ)

奥内で0.8~22.5個/m³、久栗坂で0.6~6.7個/m³、野辺地で28.1~34.4個/m³、川内で0.8~1.6個/m³見られました(表1、図4)。

(4) マボヤラーバ

奥内で1.7個/m³、久栗坂で0.6個/m³見られました(表1、図5)。

2 今後の見込み

(1) ユウレイボヤ

現在の陸奥湾の水温は8~13°C台とユウレイボヤが産卵する水温となっています。

10月以降の累積ラーバ出現数は、奥内で1.6個体/m³、久栗坂

調査地点	調査月日	表1 令和7年11月のラーバ等出現数				単位:個体/m ³
		ユウレイボヤ	サンカクフジツボ	ムラサキイガイ	マボヤラーバ卵	
奥内沖	11月4日	0.8	2.5	5.0	0.0	0.0
	11月10日	0.0	14.2	0.8	1.7	0.0
	11月16日	0.0	5.0	4.2	0.0	0.0
	11月25日	0.0	0.0	22.5	0.0	0.0
久栗坂沖	11月4日	0.0	3.9	3.3	0.0	0.0
	11月12日	0.0	4.4	0.6	0.6	0.0
	11月25日	0.0	2.2	6.7	0.0	0.0
野辺地沖	11月4日	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
	11月9日	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
	11月15日	0.0	0.8	28.1	0.0	0.0
	11月25日	0.0	1.6	34.4	0.0	0.0
川内沖	11月4日	0.0	0.8	1.6	0.0	0.0
	11月19日	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0

で1.2個体/m³、野辺地で2.4個体/m³、川内で0.0個体/m³といずれも付着数が多くなる目安である5.0個体/m³未満ですが、春に多く出現したラーバが親となって産卵し、今後増加する可能性があります。

(2) サンカクフジツボ

出現のピークは例年7、8月ですが、今年は奥内、久栗坂で10月下旬にピークが見られたことから、1月以降にホタテガイ等への付着が目立ってくる可能性が考えられます。

(3) ムラサキイガイ

ラーバが出現していますが、秋から冬生まれのラーバの養殖籠への付着は少ないことが分かっています。

(4) マボヤ

卵やラーバは今後、出現数が増加するものと考えられます。

